

科目名	鍼灸理論 4							年度	2026
英語科目名	Acupuncture and Moxibustion Theory 4							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	森田義之	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

【科目の目的】

- ・鍼灸臨床に必要な骨指標、触察法を習得する。
- ・臨床に必要な運動学の基礎と応用を学ぶ。
- ・鍼灸臨床に必要な治効理論や関連学説について学ぶ。

【科目の概要】

鍼灸法の効果機序や治効理論の理解を深めながら、特にトリガーポイント鍼灸法の適応患者に関する症状の原因筋が何か学習する。1～2年生まで学習した基礎を臨床で効果のある技術に活かせるような知識を学習する。

【到達目標】

- A: 体幹の基本的な骨指標と筋肉を覚え、口頭で言えるようにする。
 B: 四肢の基本的な骨指標と筋肉を覚え、口頭で言えるようにする。
 C: 身体の様々な部位に刺鍼する時の鍼方向を物理的に理解できるようにする。
 D: 臨床における様々な流派の鍼灸効果について学習し理解する。
 E: 運動学を理解し、症状に関係する筋肉を動きによって判断できるように学習する。

【授業の注意点】

授業日数の4分の3以上出席しないと試験が受けられません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	頸部・背部の骨指標と頸部・背部の筋	背部の骨指標と背部の筋	背部の骨指標	頸部骨指標と頸部の筋	頸部骨指標のみ
到達目標 B	上肢・下肢の骨指標と下肢の筋肉	下肢の骨指標と下肢の筋肉	下肢の骨指標	上肢の骨指標・筋肉	上肢の骨指標
到達目標 C	下肢における皮下の鍼方向について説明できる	上肢における皮下の鍼方向について説明できる	体幹における皮下の鍼方向について説明できる	皮下で鍼が曲がる理由を説明できる	鍼の材質の特徴を理解できる
到達目標 D	現代系の施術について反応を解説できる	中医系の施術について反応を解説できる	経絡系の施術について反応を解説できる	臨床での鍼灸の反応について解説できる	鍼灸の生理学的な反応について解説できる
到達目標 E	四肢の動作分析が出来る	背部の動作分析が出来る	肩部の動作分析が出来る	頸部の動作分析が出来る	運動学で使う言葉を理解できる

【教科書】

自作の資料を配布します。

【参考資料】

自作プリント

【成績の評価方法・評価基準】

試験（80％）、当日課題の提出（10％）、出席状況（10％）

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		鍼灸理論 4			年度	2026
英語表記		Acupuncture and Moxibustion Theory 4			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	関節の動きを理解している	1	
			2 骨指標	頸部における骨指標を理解している		
			3 鍼の材質	医療用ステンレスの特徴を理解している		
2	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	頸椎の関節の特徴を理解している	1	
			2 骨指標	肩関節における骨指標を理解している		
			3 基礎知識	鍼灸の生理学的反応を理解している①		
3	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	頸椎における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	胸椎における骨指標を理解している		
			3 基礎知識	鍼灸の生理学的反応を理解している②		
4	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	胸椎における関節の特徴を理解している	1	
			2 骨指標	腰椎における骨指標を理解している		
			3 基礎知識	鍼灸の生理学的反応を理解している③		
5	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	胸椎における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	臀部における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	経絡治療における作用機序の理解①		
6	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	腰椎における関節の特徴を理解している	1	
			2 骨指標	大腿後面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	経絡治療における作用機序の理解②		
7	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	腰椎における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	大腿前面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	経絡治療における作用機序の理解③		
8	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	股関節における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	下腿後面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	経絡治療における作用機序の理解③		
9	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	膝関節における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	下腿前面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	中医学治療における作用機序の理解①		
10	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	足関節における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	上肢前面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	中医学治療における作用機序の理解②		
11	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	肘関節における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	上肢後面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	中医学治療における作用機序の理解③		
12	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	手関節における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	前腕前面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	現代鍼灸治療における作用機序の理解①		
13	臨床の基礎	臨床において必要な基礎知識	1 運動学の基礎	指関節における関節の運動学を理解している	1	
			2 骨指標	前腕後面における骨指標を理解している		
			3 鍼灸流派の理解	現代鍼灸治療における作用機序の理解②		
14	定期テスト	骨指標の位置と筋肉を覚え、鍼灸の作用機序を理解する	1 鍼灸の作用機序	1～2年の復習の結果出せる	3	
			2 骨指標と筋	全身の骨指標と筋肉を覚えている		
			3 運動学	基礎運動学を理解している		
15	個別評価	各人の結果を説明し今後の振り返りをする	1 鍼灸の作用機序	1～3年の復習の結果出せる	3	
			2 骨指標と筋	全身の骨指標と筋肉を覚えている		
			3 運動学	基礎運動学を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等